

第 4 回地域検討会（山形県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 第 3 回地域検討会議事概要及び指摘事項

指摘事項なし

(2) 平成 20 年度実施計画(案)

1	<p>【指摘】飛島西海岸で植生内の調査において草を刈るときに安全管理者が一緒になって作業に入っているようだ。安全管理上、今後の調査の中で注意してもらいたい。</p> <p>【対応】調査の中で安全管理者はつけている。作業者を見ると重なっているように見えるかもしれないが、刈っている人間と拾っている人間の距離は離している。</p> <p>【指摘】飛島西海岸で植生内の調査は、もう少し何カ所か調べてもらいたい。</p> <p>【対応】第 6 回調査時に、第 4 回調査時に実施した地点 4（田下海岸）とは別の地点である地点 2（ツブ石海岸）にて植生内調査を実施した。</p>
---	--

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要

1	<p>【指摘】「第 4 回のクリーンアップ調査結果は約 7 カ月間で漂着するゴミの量をおおよそ示しているものと考えられる」とあるが、その時点にあったゴミの量としておかないと、この表現は適切でない。</p> <p>【対応】書き方を注意していきたい。</p>
2	<p>【指摘】今後の対応の議論のときに、どこから出るゴミが多いのか興味がある。細かいところ全てでなくてもいいので、代表的な 5 項目ぐらいで分かるようにして明記していただきたい。</p> <p>【対応】第 4 章の「他のモデル地域との比較」の項に代表的な 5 項目を明記した。</p>

(4) その他の調査の進捗状況

1	<p>【指摘】漂流ボトル調査については、当初から、やる意味があるのかも含めて指摘してきたが、出水時の状況がつかめないというだけで 2 回目の放流をしないというのは、当初の考え方についてきちんと考え直すべきだと思う。</p> <p>【対応】調査研究という視点から言えば、最初にプランがあって、実行プランで実際にやってみて修正をかけていく。今回は、融雪時が把握し辛かったために止もう得ず中止した。</p>
---	--

(5) 地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について

1	<p>【指摘】予算あるいは申請行為の補助関係等については市、県、事務局というワーキンググループ（WG）で詰めていただきたい。</p> <p>【指摘】プラットフォームで現実に動いている辺りのところは、県を中心にして報告書にどういう位置づけで載せるのかを検討して、次のところで事務局に相談していただきたい。</p> <p>【対応】予算措置のために行政担当者におけるWGを 8/26、9/30 に実施した。また、報告書のWGを 10/22（学識経験者、NPO、行政）、10/30（行政）、11/7（学識経験者、NPO、行政）に実施した。</p>
2	<p>【指摘】地域の情報が環境省だけに情報が収集されればいいという話ではなく、そこをどう地域におろしていくかということをするためにも、東京あたりでワークショップを一度やって欲しい。</p> <p>【対応】今年度中に昨年度と同様な国とNPOの情報交換会を実施する予定である。</p>